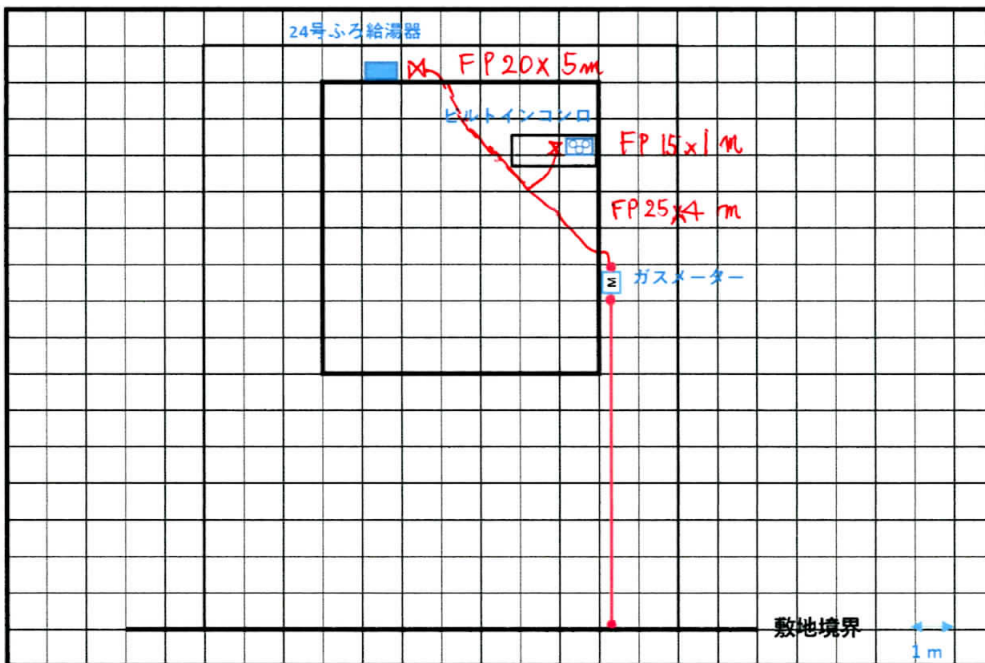


内管工事の標準モデル

内管工事見積用平面図



見積条件

- ・新築の戸建木造住宅
- ・ガス機器：2台（設計対象は、以下のガス流量とする）
 - ①24号ふろ給湯器【ガス消費量（ガス流量）⇒ 給湯 $3.71\text{m}^3/\text{h}$ 、風呂 $0.92\text{m}^3/\text{h}$ 】
 - ②ビルトインコンロ【ガス消費量（ガス流量）⇒ パーナA $0.35\text{m}^3/\text{h}$ 、パーナB $0.35\text{m}^3/\text{h}$ 】
- ・ガスメーターまでは、PE管の埋設配管（延長9m）
- ・ガスメーター以降は、フレキ管の露出配管^{*1, 2} **FP 10m**
- ・機器接続工事は見積りに含む（ガス栓は機器接続ガス栓^{*3}） **2個** $\left\{ \begin{array}{l} 20A \times 1 \\ 15A \times 1 \end{array} \right.$
- ・外壁貫通における穴あけ及び穴補修は見積りに含まない
- ・上記以外の口径、配管ルート、支持金具等の仕様は各社の標準仕様による

※1 新築の戸建木造住宅の配管標準仕様としてフレキ管を採用していない事業者は、各社の標準仕様とする。

※2 フレキ管にて床下を配管する場合は、基礎の形状は考慮せず、最短ルートで配管できるものとする。

※3 機器接続ガス栓が標準仕様ではない事業者は、各社の標準仕様とする。

考え方

- ・内管工事費用を横比較する上で、全ての事業者において事例があると思われる一般的で最も簡易な新築戸建木造住宅を想定。
- ・内管工事費用を算出するために必要なガスメーター一次側のガス管については、上記の配管ルートを示し、延長を9mとする。
- ・内管工事費用を算出するために必要なガスメーター二次側のガス管については、各社工法等の違いが想定されるため、機器配置を上図の通りとすることを前提とした上で、配管ルート、管種、口径、延長等は、各社の標準仕様とする。